

大会アピール つながり、行動しよう。

2015年11月6日 第三回女性シェルター世界会議

私たち、2015年11月3日から6日にかけてオランダ、ハーグで開催された第三回世界女性シェルター会議に参加した、115ヶ国からの1000人を超える参加者は、各国政府、各国連機関、各国際機関、民間セクターと市民社会に、女性と子どもに対する暴力を防止し、終結させるための緊急かつ効果的な行動をするよう、ここに呼びかけます。

女性と少女に対する暴力は、人間の権利に対する侵害です。今なお、世界で3人に1人の女性が、少なくとも人生のうちで一度は身体的及び・または性的な暴力を体験しています。通常、親密とされるパートナーがこうした暴力の加害者です。国連のパンギムン事務総長は、女性に対する暴力の根絶を国連の取り組みの最重要課題であると宣言しました。「ジェンダー平等と女性・少女のエンパワーリング」の達成は、国連年次総会（2015年9月25日）で193の国連加盟国によって採択された「持続的発展にむけたアジェンダ2030」の目標の一つとされています。その目標の重要なターゲットの一つは、女性と少女に対するあらゆる形態の暴力の根絶です。私たちはこの、女性と少女の生活を変えていく目標の実現のために行動します。

暴力は、サヴァイヴァー、そしてその家族とコミュニティに深い影響を与えます。それは個人、家族、ビジネス、コミュニティ、そして社会全体に、社会・経済的コスト、生産性のコストの面で甚大な影響を及ぼしています。過去数十年間、各国政府は、法制定と政策の枠組み構築の点で、目覚ましい前進を成し遂げてきました。しかしながら、法や政策の履行、制度のモニタリング、そして誰が責任を持つのかという点に関しては、その進みは弱く、遅いかまたは、なされていないままです。前・国連・女性に対する暴力に関する特別報告者、ラシダ・マンジョーは、「暴力は風土病のようにこの社会に蔓延しています。社会が責任をもって対応すべき問題です。そして女性が経験している侵害行為について誰が責任を負うのかが明確になっていないという事態は、（個々に意義を申し立てるような）例外ではなく、まさに（原則としての）ルールの問題なのです。説明責任の欠如は例外的な出来事ではなく、常態化しています(2013年)」と述べています。

私たちは、複合的な差別に直面している女性や少女の権利とニーズに、目を向けることを呼びかけます。アボリジニ及び・または先住民の立場の女性や少女、移民や難民の立場、国籍のない女性、人身取引（トラフィッキング）のサヴァイヴァー、貧困の中にある女性、障がいのある女性、LGBTQIA+の女性、民族的マイノリティの女性、そして武力紛争や災害によるトラウマや暴力に遭っている女性たち。そのどのケースについても、これらの問題を防止し減らすためには女性の声を聞くことが不可欠です。

国連安全保障理事会決議第1325号(2000年)は、女性と少女の、とりわけ、武力紛争下や緊急時、人道上の危機などの状況下でのレイプその他の形態の性暴力から、女性と少女を守る特別な対策の導入を促しています。近年の国連の世界規模の調査「紛争防止—正義の変容、平和の確保」は、国連安保理決議1325の15年間の履行状況の報告書ですが、そこでも「女性の参加が平和の継続の鍵である」と述べられています。私たちは、すべての国家と紛争中の各勢力に対して、あらゆる紛争解決と和平のプロセスに女性を参加させること、同時にすべての災害の救助、復旧、復興プログラムの計画策定と構築に際しても、女性を参加させるよう、求めます。

私たちは、女性と少女に対する暴力のツールとして、インターネットの使用が増大していることに深い懸念を表明します。国連通信委員会報告「女性と少女に対するサイバー暴力」(2015年)は、ほとんど4人のうち3人の女性や少女が、インターネット上でなんらかのサイバー的暴力の被害にさらされていることを明らかにしています。報告書でも提案されているように、私たちは各国政府と産業界に、インターネット上の暴力の対象となっている何百万もの女性や少女を守るために取り組むことを求めます。

グローバル女性シェルター・ネットワークのメンバーとして、そして第三回世界会議の参加者として、私たちは、暴力の苦痛を減らし、防止するためにはシェルターのグローバルな活動が必要不可欠であることを証言します。女性のためのシェルターは、女性と子どもたちに安全を提供するために決定的に重要なパートナーであるばかりではなく、女性と少女に対する暴力の徹底的な防止にとっても必要不可欠なパートナーなのです。

女性シェルターグローバルネットワーク「データ集計 2015」には、世界 46 か国から 2,497 のシェルターや団体からの回答を集めることができました。1 日に、53,230 人の女性と、34,794 人の子どもたちがシェルターの支援を求め、必要としていました。しかしながら、7,337 人の女性と、4,410 人の子どもたちが、資源や収容能力の限界のために、支援を断られていました。だからこそ、私たちは、すべての関係者に、暴力の防止のための努力、十分な効果のある女性と少女たちを守る努力を、大幅に強化することを求めます。特に、すべての国家とその他の関係者に以下のことを要求します。

以下のことに署名し、批准し、関連する条約やアジェンダを履行すること(女性差別撤廃条約(CEDAW)およびその選択議定書、北京行動綱領、国連人口開発特別総会(ICPD)とその行動計画、その他あらゆる関連報告や地域的政策および法律文書を含む)。

女性のためのシェルターのために適切な財政的支援(女性のためのシェルターの収容能力の明らかな増大によるものも含め)を提供すること。
軍事のための支出を、社会的経済的発展のための財政支出へと転換すること。(北京行動綱領の戦略的目標 E.2. に書かれている、暴力から逃れる女性と子どもたちを救うためのシェルターの空間を含む)

国際的に強制力のある、独立した、女性に対する暴力の条約を履行すること。
加害者に責任を取らせ、加害者の行動を変えさせ、仲間を教育する側になるようなサービスを提供すること。

以下は、ハーグでの第三回女性シェルター世界会議での各地域ネットワーク会議において議論された、各地域の主な差し迫った課題である。私たちは、これら各地域の提言を心から支持する。

環アメリカ地域

- ・女性支援サービスへの継続的な財政支援を提供せよ。
- ・軍事紛争の中でも、紛争後も、女性と少女とともに働くこと
- ・女性に対して尋常ではない暴力が生じている組織犯罪の縄張りにおける行為に対する国際的な対策を構築すること。
- ・国際的協力を強化すること。

アジア地域

- ・女性がシェルターから出た後自立することを支援する、十分な収入の得られる雇用、住宅そしてコミュニティプログラムを通じた経済的なエンパワーメントを保障すること。
- ・女性に平等な財産権、相続権、DV サヴァイヴァーのための支払い可能な住宅供給を与え、未亡人にも財産権を保障すること。
- ・シェルターへの十分な財政支援を保障すること。

ヨーロッパ地域

- ・すべての国はイスタンブール条約を批准し、CEDAW を履行すること。
CEDAW 第6条、トラフィッキング（人身売買）と売春「国家は、あらゆる形態のトラフィッキングと女性の売春の搾取を止めるためのあらゆる対策をとること」を重視すること。
- ・政府の、被害者支援に特化した財政支援によって、女性のためのシェルターの数を増やし、女性支援の専門家を増やし、女性と子どもを支援するサービスのための継続的な財政保障を導入すること。

アフリカ地域

- ・シェルターを設立し支援するための、そしてアフリカにおいて女性と少女にとって安全な場所を作るための政策と法制度を成立、制定すること。
- ・サービスの供給と安全な場所へのアクセスを保障するための暴力の被害者のための政治的な意志と財政的な投資・予算の割り当てを強めること。

アラブ諸国地域

- ・個人としての女性に対する暴力の影響に光を当てること。彼女たちの人間性を認め、家族

や社会と同じように彼女に光を当てること。

- ・名誉殺人や女性性器切除等のような有害な文化的慣習による女性の被害を認識すること。
- ・女性のプライバシーの権利が安全保障政策の名のもとに侵害されることのないように保障すること。
- ・女性のステレオタイプのイメージを描き、暴力を助長しているメディアの果たしている役割に目を向けること。

先住民ネットワーク

- ・世界で先住民女性と子どもが殺され、行方不明になっていることに対する国際的な防止策を求める。
- ・すべての国家は国連の先住民の権利に関する宣言を認識し、採用することを要求する。
- ・先住民の女性のためのシェルター・ネットワークに対する十分な支援を保障せよ。

オセアニア地域

- ・女性に対する暴力から回復するための適切な資源を保障すること。それは、選挙目当ての政権の短期的な人気稼ぎや政権の傾向などの影響を受けてはならない。また、女性や家族内での暴力の対策において、女性や子ども達にサービスを提供する専門家への資源配分を現状より増加させなければならない。
- ・加害者に責任を取らせ、彼らが変わる機会を与えるような、一貫した刑事司法対応を行うこと。
- ・ジェンダー、社会的・経済的不平等と先住民の権利に焦点をあてた社会変革について、政府に責任を取らせること。その際、文化的、言語的に多様な背景をもつ女性、障がいを持つ女性、LGBTQIA+の女性、先住民の権利に敬意を払うことを含め、ジェンダーと様々に交差する点にも焦点を当てるべきである。

Call for Action, Connect and Act Published: Nov 6 2015

3rd World Conference of Women's Shelters

We, the participants of the 3rd World Conference of Women's Shelters, held in The Hague, The Netherlands, from the 3rd to the 6th of November 2015, attended by over 1000 advocates and activists representing 115 countries, call upon Governments, UN Agencies, International Organizations, the Private Sector and Civil Society to take urgent and effective action to prevent and end violence against women and children.

Violence against women and girls is a human rights violation. One in every three women worldwide experience physical and/or sexual violence at least once in their lives, usually by an intimate partner. United Nations (UN) Secretary-General Ban Ki-moon has proclaimed the elimination of violence against women as a top priority of the UN's work. Achieving "gender equality and empowering women and girls" is one of the Goals of Agenda 2030 for Sustainable Development, adopted by the 193 member states of the UN during the annual General Assembly (25 September 2015). One of the important targets of the goal is the elimination of all forms of violence against women and girls. We commit to contributing to the realization of this Goal, which will transform the lives of women and girls.

Violence has a profound impact on survivors, their families and communities. It comes with enormous social, economic and productivity costs for individuals, families, businesses, communities and societies. Over the last decades many countries have made considerable progress in introducing legislation and institutionalizing policy frameworks. However, implementation, monitoring and accountability are weak, slow or lacking. Former UN Special Rapporteur on Violence Against Women, Rashida Manjoo has stated, "violence is endemic and the lack of accountability for violations experienced by women is the rule rather than the exception (2013)."

We draw focused attention to the rights and needs of women and girls facing multiple forms of discrimination, including women of Aboriginal and/or Indigenous backgrounds, women with immigrant and/or refugee status, undocumented women, survivors of trafficking, women living in poverty, women with disabilities, LGBTQIA+ women, women of ethnic minorities and women enduring the trauma and violence of armed conflict and in post-disaster situations. In every case the inclusion of women's voices is

imperative in efforts to prevent or mitigate such violence.

Security Council Resolution 1325 (2000) urges for the implementation of special measures to protect women and girls from violence, particularly rape and other forms of sexual violence, in armed conflict as well as in emergency and humanitarian crises. The recent UN global study “Preventing Conflict – Transforming Justice, Securing the Peace,” a 15 year review of the implementation of Resolution 1325, states that “women’s participation is key to sustainable peace.” We call upon all states and conflicting parties to include women in all conflict resolution and peace processes, as well as in the planning and formulation of all post-disaster relief, recovery and reconstruction programs.

We express our concern about the growing use of the Internet as a tool to perpetrate violence against women and girls. The United Nations Broadband Commission Report ‘Cyber Violence Against Women and Girls’ (2015) reveals that almost three of every four women and girls online have been exposed to some form of cyber violence. In line with the suggestions of the report, we urge Governments and industries to protect the millions of women and girls who are the targets of online violence.

As members of the Global Network of Women’s Shelters and participants of the 3rd World Conference of Women’s Shelters, we bear witness to the imperative global work of shelters in mitigating and preventing violence. Women’s shelters are critical partners not only in providing safety to women and children, but also in the overall prevention of violence against women and girls.

The 2015 Data Count of the Global Network of Women’s Shelters, in which 2497 shelters and agencies in 46 countries took part, states that on one day, 53,230 women and 34,794 children sought and acquired shelter services. However, 7,337 women and 4,410 children were turned away due to limited resources and capacity. This validates the need for increased resources and capacity for existing shelters, as well as the need for more shelters.

Therefore, we call upon all key stakeholders to considerably strengthen efforts to prevent violence and to effectively protect women and girls. Particularly, we demand that states and all other relevant stakeholders:

Sign, ratify and effectively implement relevant conventions and agendas, including:

The Convention on Elimination All forms of Discrimination Against Women (CEDAW) and it's optional protocol;

The Beijing Platform for Action;

The International Conference on Population and. Development (ICPD) and it's Program of Action;

All other relevant documents and regional policies and instruments;

Provide adequate funding for women's shelters, including by considerably increasing the capacity of women's shelters;

Redirect military spending towards funding for social and economic development, including shelter spaces to save women and children fleeing violence, as outlined in Beijing Platform for Action strategic objective E.2.;

Implement a standalone Convention on Violence Against Women which is internationally binding;

Hold perpetrators to account and to provide services to assist perpetrators to transform their behaviour and become peer educators.

The following are the main burning issues developed in the regional networks meeting at the 3rd World Conference of Women's Shelters in The Hague. We fully support these regional recommendations.

Inter-America Region

- Provide sustainable funding for women's support services;
- Work with women and girls during and after armed conflict;
- Create special international measures for exceptional violence against women in organized crime territories;
- Strengthen international cooperation;

Asia Region

- Ensure economic empowerment through well funded employment, housing and community programs that help women after they leave the shelter to become independent;
- Give women equal property rights, rights to inheritance, affordable housing for survivors of domestic violence, and guarantee the property rights of widows;
- Ensure sufficient funding for shelters;

Europe Region

- Ratify and implement the Istanbul Convention in all countries and implement the CEDAW;

Focus on CEDAW Article 6 on Trafficking and Prostitution, which reads “States shall take all measures to stop all forms of trafficking and the exploitation of prostitution of women;”

- Increase the number of women’s shelters and specialist women’s services and implement sustainable funding for women’s and children support services, with commitments from Governments to finance specific support services for victims;

Africa Region

- Enact and implement policies and legislation to establish and support shelters and safe spaces for women and girls in Africa;
- Strengthen political will and invest/allocate funds for survivors of violence to guarantee service provision and access to safe space;

MENA Region

- Highlight the impact of violence on women as individuals, acknowledging their humanity and shedding light on them as well as the family and society;
- Recognize female victims of harmful cultural practices, such as honor killings and Female Genital Mutilation;
- Ensure that women’s rights to privacy are not violated in the name of security measures;
- Draw attention to the role of media, which portrays a stereotyped image of women and enhances violence;

Indigenous Network

- Call for an international strategy to prevent murdered and missing Indigenous women and children worldwide;
- Demand that all states recognize and apply the UN Declaration on the Rights of Indigenous Peoples;
- Ensure sufficient support for the Indigenous Women’s Shelters Network;

Oceania Region

- Ensure proper resourcing to redress violence against women that is exempt from political cycles, including increased ongoing resourcing for specialist women’s domestic and family violence services for women and their children;

- Provide consistent criminal justice responses that hold perpetrators to account and enable opportunities for change;
- Make Governments accountable for transformative change which focuses on gender, social, political and economic inequalities and Indigenous rights, with a focus on gender and intersectionality, including women from culturally and linguistically diverse backgrounds, women with disabilities, LGBTQIA+ women, and honouring Indigenous rights.